

■ ごあいさつ



経営管理委員会会長
中川 泰宏



代表理事理事長
杉田 勇市

みなさまには、日頃より京都府信用農業協同組合連合会（JAバンク京都信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、府内JAと一体となって、府内農業の発展を金融面から支援させていただくとともに、組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指し、業務展開を図ってまいりました。

この冊子は、平成24年度の当会の事業概況や経営状況、業務内容等を取りまとめ、利用者のみなさまに当会に対するご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、平成24年度のわが国経済は、夏場以降、世界経済の減速や円高の定着等により景気の底割れが懸念される状況となりましたが、年度末にかけては新政権による経済政策への期待が高まり、株価も持ち直しの動きを見せました。

一方、農業情勢につきましては、担い手不足の深刻化のほか、環太平洋経済連携協定（TPP）への参加問題など、農業生産基盤を揺るがす問題に直面することとなりました。

このような状況の下、JAバンク京都では組合員・利用者の「農業メインバンク」、「生活メインバンク」としての機能強化に取り組みました。当会の事業運営につきましても、JAと一体となった貯金増強運動の効果により貯金は事業計画を大幅に上回る実績となり、当期剰余金も計画を達成することが出来ました。

平成25年度につきましても、新たにスタートさせた「JAバンク京都中期戦略」の基本目標である「将来に向けて組合員・利用者の満足度と地域での存在感を高め成長し続けるJAバンク京都」を実現するため、JAとの一体性をより高めながら、役職員が一丸となって積極的に事業に取り組んでまいります。

今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年7月

経営管理委員会会長
代表理事理事長

中川 泰宏
杉田 勇市